



第4時 (幕府の政治)

④ 源頼朝は鎌倉幕府でどのような政治をしたのだろう

〈調べたこと〉

領地 おおみつき 頼朝の政治

将軍 御家人

かみ視 執権

仕組み 御家人

守護 地頭

土地 税の取り割り

幕府の土台を守り支える

御家人 鎌倉

幕府のしくみが役立つ

御成敗式目

土台を守る

支配力を強める

つまり、武士中心の政治として、きまりやルールを整えて長く続くようにした。東国~西国まで

北条政子

つくり

幕府の連帯感が勝つことにつながった。協力

運もみかたした。

新しい戦い方に対応するのに、苦しい、恐怖

結果

元をしりぞける

暴風雨

恩賞 → 土地

幕府のために

なせ

攻められにくい

山がある

見おとせる(源平)

枝わかれ(にけりあ)

平氏は京都

天皇貴族

大から不満を言えない

じゃまされない

政治について

遠いから、はげない

自分たちの族

武士中心

才能(聖徳太子)

平氏を弱める

商業をさかんに

きまり

神奈川

幕府が置かれた鎌倉の地形

周囲が山と海に囲まれている

でこぼこ → 高低差

山の中に道

切り通し

第5時 (元寇)

④ 1回目の元との戦いについて調べよう

〈調べたこと〉

1回目の元との戦い

元から国交をもとめよう

無視

日本に攻められる

御家人は九州に集められる

幕府の命令

文永の役

戦い方

日本

騎打ち

元

集団

苦しい

びびり

恐怖

つはう

結果

元をしりぞける

暴風雨

恩賞 → 土地

幕府のために

矢野

日本より広い国がせめて来た!!

◎日本を守り、立ち向かう

◎危機感 → 土地の広さ

◎日本全国に力がある、大丈夫!!

◎準備できる?

☆ヤバイ ← 広い広さ、こわい

☆すごい速度で広がっている

→ 戦法の不安

時宗

御家人

保防

兵の数がちがう

領土と人口

第7時 (学習問題のまとめ)

④ 武士による政治を関係図にし、学習問題についてまとめよう

政治にちなんだ関係図

関係図のよさ

少ない言葉で関係性が

ポイントが定まる

政治のしくみ

幕府と御家人結びつきの関係

ご恩と奉公

守護 地頭

幕府

ご恩 奉公

源頼朝

土地 領地

御成敗式目

北条時宗

元こう(外国)

御家人

見方はいろいろ

内面はいろいろ

つくり

武士中心

つくり

武士なのにきまりをつくる

◎ご恩と奉公(強い)

→ 対外政策は弱い

◎土台がくずれると、力が弱まる

◎幕府と御家人が結びついているからこそ(成立)

人は変わっても → 土台が変わらなければ

武士中心の政治ができてくる

これからの学習

平氏の政治(清盛)

武士だけ貴族がい

源氏と平氏

義経 → 作戦を立てる

幕府が開く

武士の政治はじまり

着目してまとめる!!

仕組みなど

学習問題について

平氏や源氏によって武士中心の政治が始まった。中でも、源頼朝が政治の仕組み(ご恩と奉公)をつくり、主従関係を整えた。つまり、土地によるつながりを使い、政治を安定させた。